

監督者訓練(TWI)出張訓練のご案内

監督者訓練(TWI)は、アメリカの産業界で実際の職場経験に基づいて、30年以上にわたる研究の結果できあがったものです。

わが国でも戦後導入され、労働省によって普及推進が図られ、その後産業界の着目するところとなり、非常な勢いで広まってまいりました。

現在も職場の監督者に対する最も基幹的な訓練として、業種を問わず多くの企業が導入しています。

この訓練は、職業能力開発促進法の規定による熊本県知事認定の職業訓練(普通職業訓練・短期課程)として実施します。

訓練の内容

- 1 一般的に監督者には五つの条件が必要とされています。



- 2 この訓練は職場の第一線の監督者に、監督者としての基本的な技能で、それぞれの技能を合理的に習得させるために、必要な原理原則を「4段階法」という標準化した形にまとめ、職場の作業や従業員の問題を中心にして、討議と実習(実演)により訓練を行います。

教える技能	部下を指導し正しく仕事をさせる技能
改善する技能	作業改善を推し進めるための技能
人を扱う技能	部下を上手に扱い問題を未然に防ぐ技能

訓練コース 当協会では、4コースを準備しています。

仕事の教え方(JI)

【監督者訓練一科】

部下が、正確に、安全に、作業の間違いを起こさず、教えた通りに、すばやく仕事をするのを覚えさせる技能を習得させる訓練です。

改善の仕方(JM)

【監督者訓練二科】

仕事のムダ、ムラ、ムリを取り除くことにより、作業能力を向上させる技能を習得させる訓練です。

人の扱い方(JR)

【監督者訓練三科】

職場の人間関係を円滑にし、職場に問題が起こるのを未然に防ぎ、直面する問題を効果的に解決する技能を習得させる訓練です。

安全作業のやり方(JS)

【監督者訓練四科】

職場の以上(不安全行動・状態と原因)を発見し、発生するであろう事故を予測し、それに対処する方法を身につけ、職場の安全性を高める技能を習得させる訓練です。

訓練の対象者

職場の第一線の監督者等。

課長など管理監督の職務に従事する方、又は候補者の方。



各訓練の時間と定員

訓練の時間	各コース10時間 ※安全作業のやり方(JS)のみ12時間	例) ①2時間×5日 ②2時間30分×4日 ③3時間+3時間+4時間の3日
定員	8名から10名以内	

受講料

会員企業	1コース 一律135,000円(税別、教材費及び講師交通費込み) ※10名受講の場合、一人当たり13,500円
非会員企業	1コース 一律165,000円(税別、教材費及び講師交通費込み) ※10名受講の場合、一人当たり16,500円

※会員企業とは、熊本県職業能力開発協会の会員企業

講師

監督者訓練トレーナー資格を有する講師が担当します。

会場

申請企業に監督者訓練トレーナーを派遣します。

修了証書

熊本県職業能力開発協会長名で修了証書を交付します。

お申込み・お問い合わせ先

※ご連絡いただければ、伺ってご説明いたします。



特級技能検定の受検対策としても活用できます。



熊本県職業能力開発協会

〒861-2202

熊本県上益城郡益城町田原2081番地10 電子応用機械技術研究所内

TEL (096) 285-5818 FAX (096) 285-5812

E-mail: kunren@noukai.or.jp URL: http://www.noukai.or.jp